

大阪湾漁場環境速報

平成27年1月22日発行

兵庫のり研究所

神戸地先～湾奥部、大阪府沿岸域を中心にキートセロスを主体とした小型珪藻が増殖し一部の海域では赤潮を形成していました。窒素は概ね全域で $3 \mu\text{g-at/L}$ 以上の値となっていますが、珪藻が多い海域の表層ではリンが低い値を示しています。例年、この時期よりスケルトネマやタラシオシラ等小型珪藻の増殖が活発になる傾向がありますので、引き続き珪藻および栄養塩動向に注意が必要です。

(水温) 表層は湾内9～12℃台で、平均10.4℃。昨年比0.4高い。-10m層は平均11.0℃

(塩分) 表層平均30.34psu。-10m層平均31.80psu。

(栄養塩、他) 表層の窒素濃度は平均 $6.1 \mu\text{g-at/L}$ 、リン濃度は平均 $0.21 \mu\text{g-at/L}$ 。-10m層(平均)は、窒素 $5.0 \mu\text{g-at/L}$ 、リン $0.29 \mu\text{g-at/L}$ 。神戸市沿岸～湾奥部および大阪府沿岸(表層塩分が30psu以下の海域)ではキートセロスを主体とした小型珪藻が多く発生しており、一部海域では赤潮が確認された。その他の海域においてはこれら小型珪藻の発生量は少ない。透明度は赤潮域で2.0～3.0m、その他で4.0～6.0mで平均4.1m。

上段 (今回値)	平成27年1月21日調査
中段 (昨年値)	平成26年1月21日調査
下段 (平年値)	2月上旬

調査地点	水温 (°C)	塩分 (psu)	三態窒素 ($\mu\text{g-at/L}$)	リン酸 ($\mu\text{g-at/L}$)
04	11.9	32.42	3.7	0.29
	11.3	32.5	5.5	0.36
	10.5	32.65	4.7	0.42
05	10.5	31.79	4.4	0.37
	10.3	32.2	5.1	0.43
	9.4	31.83	4.5	0.34
06	9.1	26.77	9.1	0.08
	10.4	31.6	5.4	0.45
	9.1	31.78	5.4	0.36
07	10.2	31.43	4.9	0.30
	10.5	32.2	5.2	0.45
	9.3	31.99	3.5	0.31
08	12.4	32.65	3.7	0.28
	9.4	31.3	4.9	0.18
	10.1	32.32	3.9	0.36
09	12.5	32.75	3.8	0.32
	10.5	32.3	5.1	0.35
	9.9	32.33	4.4	0.39
010	10.2	31.34	3.2	0.15
	9.4	30.9	4.7	0.11
	9.0	31.75	3.7	0.21
012	9.6	30.74	3.2	0.05
	9.5	30.7	7.7	0.14
	8.7	31.11	6.9	0.22
013D	9.6	30.06	5.0	0.05
	10.1	30.1	22.2	0.42
	8.3	29.98	14.8	0.25
016	8.8	25.85	15.3	0.10
	9.1	28.0	24.6	0.65
	8.4	28.95	18.4	0.27
017D	9.2	26.76	26.3	0.12
	9.3	28.6	30.6	0.82
	8.5	29.25	26.3	0.39
018	9.4	27.32	20.3	0.22
	9.2	25.1	44.1	1.18
	8.6	28.02	31.4	0.56
S1	9.0	27.82	10.2	0.07
	9.2	29.60	17.4	0.64
	8.7	30.98	9.3	0.29
S2	9.2	27.46	9.9	0.07
	8.9	28.3	20.9	0.58
	8.5	30.16	11.7	0.21
S3	10.7	31.68	5.1	0.39
	9.9	31.7	4.5	0.32
	9.2	31.45	5.9	0.30
S4	10.6	31.68	2.8	0.21
	11.4	32.5	6.0	0.38
	10.2	32.55	4.2	0.37



